

令和 2 年 2 月 1 日

各連盟理事長 様  
各連盟審判長 様  
各ブロック協会理事長 様  
各ブロック協会審判長 様  
各都道府県協会理事長 様  
各都道府県協会審判長 様

(公財) 日本ハンドボール協会  
競技・審判本部  
競技本部長 高野 修  
審判本部長 福島 亮一

競技規則 第 4 条の適用について (通達) および  
各大会における規定の明記・周知について (依頼)

選手やチーム役員が試合に出場することについて、競技規則書や競技運営に関する事項 (通達) に記載されていますが、『競技規則 第 4 条』の解釈について、下記のとおり記載しますので、関係者への周知をお願いします。また、各大会主催者においては、各大会において大会規定の明記をお願いします。この内容については、競技本部より発行される「各大会におけるマッチオフィシャル (MO) 並びにテクニカルデレゲート (TD) の任務と競技運営に関する事項 (2020 年 4 月 1 日)」に反映される予定です。

記

競技規則

4 の 1 (抜粋)

延長戦を含めて競技中いつでも、プレーヤーの数を 14 名まで補充することができる。

4 の 3

競技の開始時に競技場において、記録用紙に記載されているチーム役員とプレーヤーが、競技への参加資格を持つ。

競技の開始後に遅れて到着したチーム役員とプレーヤーは、タイムキーパーとスコアラーに参加資格の承認を受け、記録用紙にその旨を記載されなければならない。

参加資格のあるプレーヤーは、原則として自チームの交代ラインを通過して、いつでもコートに入ることができる (ただし、4:4, 4:6 を参照)。

「チーム責任者」は、競技への参加資格を持つプレーヤーだけを出場させるようにしなければならない。違反した場合は、スポーツマンシップに反する行為として「チーム責任者」に罰則を適用する (13:1a ~ b, 16:1b, 16:3d, 16:6c, ただし、競技規則解釈 7 を参照)。

以上のように記載されている。

現在、国内の一般的な大会規定は、コイントスの際に提出されたメンバー表に基づいて記載された記録用紙の変更は、誤記載以外は認めていない。

しかし、IHF・大陸主催の大会の規定をもとに作成されたIHF競技規則問題集の解答では、試合中に記録用紙にプレイヤーが記載されていないことが分かった場合は、大会規定のベンチ入り出来る数に対して、記録用紙に記載されている人数が最大数未満だった場合のみ、追加で記録用紙に記載することができることになっている。(そのプレイヤーが大会にエントリーされていることが条件)

そこで、記録用紙への記載および試合への参加・出場に関わる国内の一般的な大会の規定について、IHF・大陸主催の大会の規定を標準とする。

ただし、加盟団体や各大会で定めた規定がある場合は、その規定を明記し、周知した上で実施すること。

以下、日本協会 競技・審判本部として、選手やチーム役員が試合に出場することについて整理する。

- ① プレーヤー、チーム役員の登録方法、期限、変更方法については**各大会で定める**。  
申込期日を過ぎたプレイヤーの登録は認められないことやチーム役員の登録は随時できることなど、**各大会の要項に定めたとおり**で実施すること。
- ② 代表者会議で決定したチーム役員、プレイヤーのみが競技に参加、出場することができるが、**加盟団体が別に定めたときは**、その規則に従う。
- ③ 各試合の出場プレイヤー、参加チーム役員数は競技規則に定められた通りとするが、**加盟団体が別に定めたときは**、その規則に従う。
- ④ オフィシャルミーティングで試合に出場させるメンバー表を提出するが、**加盟団体が別に定めたときは**、その規則に従う。

記録用紙に記載されているプレイヤー・役員が試合開始後に遅れて到着して参加・出場する場合は、MO・TDの承認を受けなければならない。

- ⑤ 試合開始後に**記録用紙に記載されていない**プレイヤーがベンチ入りしていることやコート上でプレーしていることが分かった場合、以下の手順により、競技を運用する。

- 1) チーム責任者に段階的罰則。
- 2) 大会規定のベンチ入り出来るプレイヤー数に対して、**記録用紙に記載されている人数が最大数未満だった場合のみ、追加で記録用紙に記載することができる**。(大会にエントリーしているプレイヤーであることが条件)

→例として、大会規定のベンチ入り出来るプレイヤー数は**14**名。現在、正しく記録用紙に記載されているプレイヤーは**13**名であり、記載されていないプレイヤーを含めると**14**名。そのプレイヤーを**14**人目として記録用紙に追加で記載することができる。

- 3) 競技の再開は、中断の理由に相応しいスローで競技を再開する。
- 4) 記録用紙の特記事項欄に記載する。
- 5) そのプレイヤーの試合中の得点については、その得点に伴うスローオフを相手チームが実施していれば有効である。実施していなければ、得点を無効とする。
- 6) そのプレイヤーが記録用紙に記載されていないことが判明するまでの罰則については有効である。ただし、そのプレイヤーが記録用紙に記載されていないことが分かったことによるプレイヤーへの罰則は適用しない。チーム責任者の責任である。

このことに関わる競技規則問題集の該当問題 ※解答は、従来記載されているものから変更なし

#### 第4条 チーム、交代、服装、プレイヤーの負傷（抜粋）

4-1 白チームの 11 番は競技の開始直前に重傷を負ったため、プレーできなくなった。

- (a) 白チームの 11 番は交代できない
- (b) 相手チームが了承すれば、白チームの 11 番は交代できる
- (c) 通常、白チームの 11 番は、記録用紙に記載した名前を変更し交代できる。また、代わりに参加するプレイヤーは 11 番をつけてもよいが、レフェリーは、各大会における特別な規定を守らなければならない場合もある
- (d) 白チームの 11 番は交代できるが、代わりに参加するプレイヤーは 11 番をつけることはできない

解答 4-1 c (4:1, 4:3)

4-6 競技の開始時、白チームは 6 名のプレイヤーしかいなかった。競技の開始直後に白チームのプレイヤー 7 番が遅れて会場に到着した。白チームの 7 番はそのまま自陣の交代地域を通過してコート内に入った。白チームの 7 番は記録用紙に記載されていないかった。

- (a) (レフェリーはレッドカードを示し) 白チームの 7 番を失格とする
- (b) 白チームの 7 番を 2 分間退場とし、記録用紙に追加で記載しなければならない
- (c) 主催者が定める規定に一致するなら、白チームの 7 番を記録用紙に追加で記載しなければならない
- (d) 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する

解答 4-6. c, d (4:3, 16:1b)

4-8 競技の中断中に、黒チームの 14 番が正しく交代した。しかし、タイムキーパーは笛を吹き、黒チームの 14 番は記録用紙に記載されていないと説明した。黒チームの 14 番は、黒チームの 18 番として記録用紙に記載されていたことが判明した。

- (a) 黒チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する
- (b) オフィシャル席の前から、白チームにフリースローを与える
- (c) 背番号を記録用紙に記載されている通りとし、黒チームの 14 番は、黒チームの 18 番のユニホームに着替える
- (d) 競技の中断の理由に相応しいスローで競技を再開し、記録用紙にその旨を特記する

解答 4-8. c, d (4:3, 13:3, 13:4)

**4-40** 後半の 13 分 27 秒で、白チームの 15 番が得点を決め、スローオフが実施された後、タイムキーパーが競技を中断した。タイムキーパーは「白チームの 15 番は記録用紙に記載されていない」とレフェリーに伝えた。記録用紙には、白チームのプレーヤー 14 名が記載されていたが、レフェリーは、白チームの 11 番がいないことに気付いた。

- (a) 得点を取り消す
- (b) 得点は有効である
- (c) 主催者が定める規定に一致するなら、白チームの 11 番を削除し、代わりに白チームの 15 番を記録用紙に記入する
- (d) 白チームの 15 番は競技への参加資格がなく、コートから去らなければならない
- (e) 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する
- (f) 記録用紙に特記する

解答 4-40. b, c, e, f (4:3, 9:1, 9:2)

**4-59** 白チームの攻撃中、タイムキーパーが競技を中断した。タイムキーパーはレフェリーに、今、コート内にいる白チームの 11 番は、記録用紙に記載されていないと説明した。チーム役員 A が、誤って 13 番としてメンバー表を提出していたことが分かった。

- (a) 白チームのフリースロー
- (b) 黒チームのフリースロー
- (c) 白チームの 11 番の参加は、認められない
- (d) 間違いを正し、白チームの 11 番の参加を認める
- (e) 記録用紙にその旨を特記
- (f) 白チームのチーム役員 A に、段階的罰則を適用する

解答 4-59. a, d, e (4:3, 4:7, 4:8, 新ガイドライン)

以上